

職員による自己評価

A環境面

- ・ 支援スペースの確保はできている。
- ・ 職員の人員配置数は適切である。
- ・ 壁やテーブルの脚、ロッカーの角を緩衝シートで覆ったり、クッションを張ったり、床にはジョイントマットを使用して怪我防止の安全対策をしている。

B児童への支援内容

- ・ 職員間でのミーティングで検討を重ね、一人一人利用者に向けた支援が出来る様に継続して話し合いを行なっている。

C関係機関との連携

- ・ 瀬谷区の事業所と児童の情報交換や連絡会議への参加も出来ている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 送迎時、日々の様子や今後の予定などをお伝えしている。
- ・ 外出企画などイベントを行なった後は、必ず写真通信をご家族宛に配布している。
- ・ 利用者様に何か変化がある時には、保護者へ連絡し、報告している。

E非常対応

- ・ 避難訓練や災害を想定した移動手段の検討を行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・ 階段や段差がなく室内が広いので、安全に過ごせていると思う。
- ・ 人員配置については、利用者に対して十分なスタッフが必ず配置されているので、満足し、安心できている。

B児童への支援内容

- ・ 休校日の日の外出など色々な場所に連れて行ってくれたり、室内で調理をしたり、子どもが楽しめる活動を考えてくれている。
- ・ 個別支援計画面談で日々の様子も含めて、分かりやすく話をしてくれている。

C事業所からの情報発信

- ・ 送迎時に子どもの様子や活動内容を詳しく報告してくれている。
- ・ イベントや日々の活動の様子を写真通信として配布されているので、子どももテーブルに置いておくと座るたびに見てたのしんでいる。

D非常対応

- ・ 子どもに変化があれば、すぐに連絡をし、報告してくれている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 個人面談の時など、日々の様子や、今後の支援内容について、分かりやすく説明し、保護者と話し合いながら内容を決めているので、一人一人に合った支援が出来ている。
- ・ 工作やイベント、お出かけ企画では、必ず写真通信を配布しているので、その日の活動内容や、利用者の様子を確認できる。また送迎時に活動内容の報告をする事で様子を確認できている。
- ・ 人員配置もしっかり出来ているので、安心できている。

【相違点】

- ・ 支援スペースの広さは現在では十分だが、今後子どもが増えた時や、成長した時には狭いのではないかと。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ご家族とのコミュニケーションや信頼関係がとれている。
- 休校日の外出企画を通して、利用者が楽しみながら、同時に社会性なども学び、伸ばすことが出来る
- 人員配置もしっかり出来ているので、利用者、保護者の方も安心して、サービスを受ける事が出来る
- 日々の様子を写真通信でその都度配布しているので活動を確認でき、安心出来る。

事業所の改善点

- 利用者の人数が増えた時や成長してきた時のスペースが狭くなるので、外出企画などを取り入れて緩和する。
- 保護者交流会の検討
- 地域との交流の機会の提供は出来ていないので今後検討して行きたい。

事業所の改善への取り組み

- 災害時のマニュアルを作成し保護者に周知する。
- 定期的に各災害を想定した避難訓練も行い、利用者・保護者の方共に、災害があった時にスムーズに避難出来る様にしていく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回の自己評価を行った事で、保護者の方とも連携が取れて、信頼していただいていることがとてもうれしく思います。十分とは言えないところは、さらに外部研修なども積極的に参加できる環境を整え、職員のスキルアップを図り、話し合いの機会を増やして改善していき、より良い支援をしていけるようにしていきたいと思えます。

事業所名 フレンズ瀬谷

担当者 石田 まり子